

■この授業の位置づけと概要

政策は、多くの困った状況の人の底上げをしたり、地域全体の活性化を図ったり、つまりは自分を含めた社会全体の問題を解決することを目的に行われます。

社会全体のために行われる政策はあたり前で目立たないものが多く、個人や企業はこの政策の上に活動しています。この授業ではそういった目立たない、でも国や県や市町村が継続的に行っていることを中心に学習します。理論だけでなく現実にも目をしっかり向けます。

人間が自分の効用を最大化すること、企業が自らの利潤を最大化すること、両方とも自分のために行う利己的な活動です。政策は必ずしも自分(たとえば公務員)の立場を良くするためにやっているわけではありません。この違いはしっかり踏まえてください。

さて、自治体の活動の原資は税収です。自治体(公共部門)は活動で利潤をあげると民業圧迫であると批判されます。一方で、民間企業はCSR(Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任、最近ではCSVという概念も登場)の一環としてメセナ活動や社会貢献活動を行っています。これは一見 利潤を求めている活動のようですが、企業の利益追求の一環として解釈されます。民間企業の活動が悪いと言っているわけではなく、自治体(公共部門)は企業(民間部門)とは異なる性質・背景を持っていることを強調したいのです。

政策は「公共の福祉のため」に行われ、行われる時には公平と公正でなりません。誰か一人だけ有利になり儲かるために政策を実施してはいけません。目立たなくて地味で無くては生活が成立しない政策が実は皆さんの身の回りにたくさんあります。

政策を考えることは、自分のことばかりを考えるのではなく、まわりの人のことや社会全体のことを考えることになり、「大人の学問」と言えます。

政策には、計画 → 実施 → 評価・見直し → 計画(に戻る)・・・という「政策サイクル」があります。この学部では、

「政策情報論」 : 政策を「計画」する段階を学習する
「公共政策論」 : 政策の大枠や「実施」段階を学習する
「政策分析」 : 政策の「評価」段階(効果があったかを振り返る)あるいは評価予測(政策選択を行う)を学習する、と位置づけています。

公共政策論での授業の展開は以下のとおりです。現実問題も考えてもらうためにビデオを見てもらうこともあります。授業と深い関係がありますからもちろんそれらも試験範囲です。

■展開 授業内容は以下の予定です。受講者の反応を見つつ変更することがあります。また前期のコマ数が15回確保できるか分かりませんので、弾力的に変更します。

第1回 オリエンテーション(今日)

第2回 (概容を捉える1) 公共政策とは?、公共部門の役割

第3回 (概容を捉える2) 政策の顕在化としての予算、地方自治体の現況と方向性

第4-5回 (理論的枠組1) 公共財・サービスの性質、公共財に対する需要曲線

第6回 (理論的枠組2) 社会的余剰分析、規制の有効性

第7回 中間試験: 進度によってずれる場合があります。

第8回 (理論的枠組3) 補助金と自治体行動、フリーライダー、スピルオーバー、外部効果、コースの定理、足による投票

第9回 地方財政制度

第 10 回 (事例研究) 新公共経営 NPM/PFI

第 11-12 回 (理論的枠組 7) 公企業の価格付け

第 13 回 NPO と行政

第 14-15 回 新たな公共の担い手

第 16 回 期末試験：試験期間中に行います。

■レベル

特に問いませんが、積極的に授業に参加し勉強する姿勢が求められます。
一夜漬けして合格する授業ではありません。

■履修資格

特になし。

■次に履修が望まれる科目

政策情報論，政策分析

■この授業の基礎となる科目

ぐんま未来学 2

■テキスト・参考書

特になし。

■評価

中間試験・期末試験の二回によって評価します。授業内での発言を喚起するために発言点を設定し成績に加味します。授業中に発言したら下記の発言登録サイトで登録してください（試験と発言が zoom 上で難しければ他の評価方法に変更します）。

■授業のレジュメについて

レジュメは授業の補足のために配布しています。授業の中で修正したり，改善したりすることがあります。レジュメより授業の講義内容が優先され試験の時も同様です。

学部外の閲覧者をブロックするため学部 moodle を使用します。レジュメも学部 moodle にアップします。4月中は授業のコースに自由にアクセスしてください。その時，登録キーをコース内に記載しておきますのでメモしておいてください。

5月以降アクセスを登録者に限定しますので，履修する人はメモした登録キーで学部 moodle に登録してください

■発言登録サイト

授業内で発言した場合，なるべくその日のうちに(忘れないうちに)登録サイトで，発言日時とその内容について簡単で構いませんので登録してください（変更の可能性があります）。

■中間試験・期末試験の成績還元について

中間試験はコピーを返却します。この学部で大テストの答案を返却する授業が少ないので，いろんな意味でショックを受ける人がいますが，公平・公正に採点していることを示すために行っています。試験の結果は，学部 moodle にも掲示しますので各自入力間違いがないか確認してください（もちろん本人以外は閲覧できません）。

■zoom 関連

学部 moodle 記載の登録キーで5月初めに登録することを忘れないでください。zoom にセキュリティの問題があるので zoom の URL あるいはミーティングパスワードを毎回変える可能性があります。変更する場合は前日までに学部 moodle 上でアナウンスしますので，授業の直前ではなくあらかじめ学部 moodle にアクセスし情報収集するよう心がけてください。

ウィルス騒ぎでいろいろ大変ですが，できることをできる範囲で頑張っていきましょう。